



ベニホシマンジュウガニ

「少し深い海の底」水槽にベニホシマンジュウガニを展示しましたこのカニがとれた場所は、大阪湾の友ヶ島周辺水深 70m ほどの海底で、漁師さんが行う底曳網にかかりました。甲羅に赤い斑紋がちりばめられていて、よく見ると左右対称にならんでいます。斑紋はハサミや脚にも付いていて、全体的におしゃれな感じがします。

このカニが大阪湾で記録されるのはめずらしいことで、手元の資料を探しても 2017 年に 2 例、2018 年に 1 例の記録があるのみでした。また、とれた場所はいずれもせんなん里海公園のある阪南市沖の海底でした。

ベニホシマンジュウガニの分布域は、日本沿岸では相模湾から九州の太平洋岸や天草灘とされ、他に長崎県や沖縄県でも記録される南方系のカニです。近隣では和歌山県にも分布しており、近年の温暖化による海水温の上昇でこのカニが紀伊水道を越えて大阪湾南～南東部へ入り込んできているのかもしれません。

